

## 業種 国内・海外アーティストのコンサート企画・制作

年間300本のコンサートツアーを企画する会社の  
基幹業務を最少スタッフで正確に実現。

## ●Vol.69 株式会社オン・ザ・ライン

設立から5年で日本トップクラスのプロモーターとなり、国内外の超有名アーティストの年間300本に及ぶコンサートツアーを企画制作する株式会社オン・ザ・ライン。各方面から注目を浴びるこの会社の経理業務を支えているのは、たった一人のスタッフと「勘定奉行新ERP」「個別債権債務管理 テンプレート」の組み合わせだった。

5年間で1,300万人を動員した  
国内トップクラスのプロモーター

当社は2000年5月の設立以来、5年間で2,000を超えるイベント及びコンサートプロデュース・プロモートし、延べ1,300万人を動員してきました。トップアーティストのコンサートツアーを多数手がけ、国内はもとより外国人アーティスト、海外公演においても成果を上げることができるトップ・プロモーターとして活動の幅を広げています。

年間300本近いコンサートツアーを制作し、発生する伝票の数は年間2万枚、一日平均約100枚、春・夏・冬休みのコンサート集中期間には一日300枚を超える伝票が上がって来ることがあります。こまめにメンテナンスをしても全国のイベントやプロダクションから、バンドメンバーやヘアメイクなど多岐にわたる取引先は常に1万件近くになり、他社の方からは「そんなにたくさんの経理業務をよく一人で処理できますね」と驚かれます。通常であれば6人くらいのスタッフが必要な量なのだ

そうです。私自身、今まで経理という部署に所属したことのない人間でしたし、現在も経理業務に費やすことができる時間は全体の半分くらいで、残り半分は法務や総務といった他の仕事をしなければなりませんので、この「個別債権債務管理テンプレート」がなければとても処理しきれない仕事量だと思います。

以前のシステムからの  
移行もスムーズに実現

「個別債権債務管理テンプレート」を導入したのは2004年の8月からで、それまでは海外メーカーのシステムを使用していました。その会社が日本から撤退しサポートされなくなってしまったということで、2004年の1月から約半年間平行してシステムを動かし業務の移行を行いました。

導入には、当社起業時に伝票形式やファイルリングから始めて、経理業務の様々な仕組みを構築指導して下さった税理士法人

株式会社 オン・ザ・ライン  
吉田 玲子 氏税理士法人アルバトロス  
石田 健太郎 氏

## 奉行新ERPで利用内容

勘定奉行新 ERP [個別原価管理編]  
個別債権債務管理テンプレート

アルバトロスの石田健太郎氏が担当してくださりました。石田氏は、年を追うごとに増大する当社経理業務を確実に担えるソフトをずっと心配して探して下さっていました。そしてOBC及び開発会社と共に詳細な打合せをし、当社のような経理業務にも確実に対応できるシステムとして、このテンプレートの導入を手厚く支援して下さいました。システムの調整やカスタマイズのかいもあり、導入後は操作にもすぐに慣れ、違和感なく移行できました。

コンサートツアーやイベントなどの興行は、プロダクションが興行主だったり、会館や地方イベントが興行主だったり、同じツアーでも公演毎に興行形態が違いますし、それによって精算の仕方も変わってきます。この「個別債権債務管理テンプレート」は、そのような状況にもフレキシブルに対応し、自動的に仕訳を作成してくれるので仕訳を意識しないで経理業務ができます。そもそも、私は複式簿記の仕訳というものが分かっていませんが、年間何万という仕訳伝票が発生する当社の経理を確実にこなしています。また、支払伝票で一気に消込みができたり、購入伝票で支払時に控除する源泉額を入力できたりするのも大きな魅力です。当社のように、商品を

## ■会社プロフィール

名称	株式会社オン・ザ・ライン (英文社名: ON THE LINE Inc.)
所在地	東京都港区北青山2-12-13
設立日	2000年5月10日
資本金	7000万円
社員数	13名
営業種目	国内外アーティストのコンサート企画・制作及びチケット販売 外国人アーティストの招聘など

扱うのではなく興行やサービスを扱うイベント制作会社や広告会社、芸能プロダクションには、商品仕入ではなく制作経費などの債務や債権を確実に管理ができ、ピッタリのシステムだと思えます。

## コンサートツアーごとの資金収支を把握。

当社には10名のプロデューサーがおり、各自コンサートツアーを一本丸ごと企画制作するスタイルで、それぞれが複数のツアーやイベントを平行して進めています。当然彼らは各興行利益の責任を持っていますが、それに加え各興行の資金収支をできるだけ常にキャッシュイン状態にすることも求められます。しかし、数ヶ月にわたる全国縦断ツアーなどもあり、こちらでツアーごとに損益計算&債権債務管理してあげないと自分

が行っている興業で利益がいくら出ているのか、あるいは請求を出したものが予定通り入金されているのかどうかさえ分からなくなりがちです。彼らは大まかな全体像は分かっているのですが、相殺や日々の入出金など正確な情報は把握していないので、私の方で入金遅れなどをチェックしてサポートしています。

当社の請求書には、得意先ごとの締め支払サイトではなく、各取引ごとにプロデューサーと先方が約束した入金予定日を表示しており、その予定日に入金をいただければ、確認の連絡を該当する会社に入れてもらったり、私の方から直接電話を入れることもあります。そもそも、当社はどんな興行形態でも、できるだけ資金収支をキャッシュインにさせるため(コンサートは前金制の業種です)、一律の締め支払サイトというものは決めています。

## 月間100名を越す源泉徴収にも対応。

アーティストやバンドのメンバーなど個人で活動している人への支払も多いため、多数の源泉徴収が発生するのも当社の特長です。「個別債権債務管理テンプレート」には購入伝票明細単位で源泉徴収額の管理を行い、法定調書奉行にデータを連動させる機能もあり、非常に助かっています。毎月100人以上の源泉徴収がありますから、通常なら源泉管理だけでも結構な仕事量になると思います。

私のように経理の専門ではない人間でも、ミスが絶対に許されない経理の仕事を一人でこなしていけるのですから、この「個別債権債務管理テンプレート」はよくできているシステムだと思えますし、非常にコストパフォーマンスに優れたシステムだと思えます。(文中敬称略)



株式会社オン・ザ・ライン  
**ご利用内容**

勘定奉行新 ERP【個別原価管理編】

個別債権債務管理テンプレート

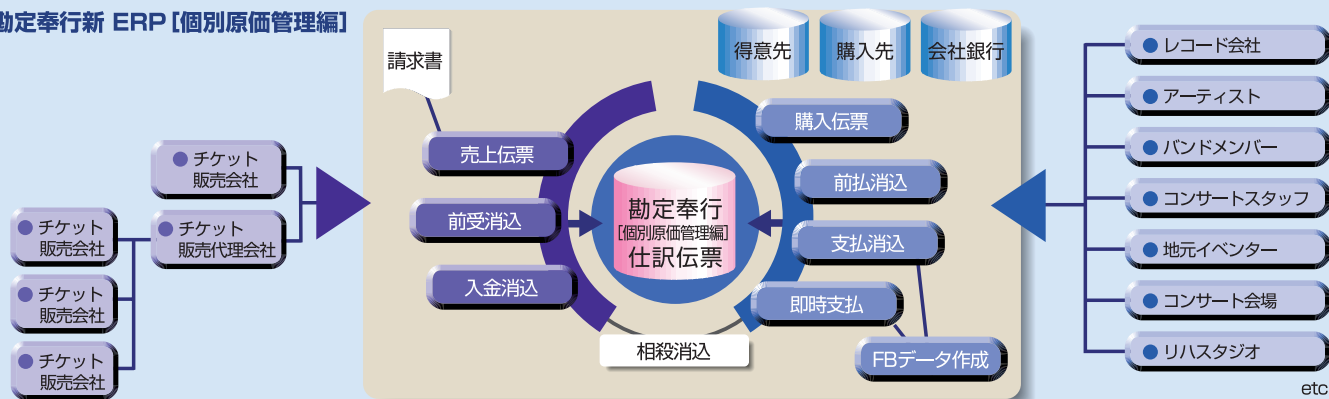
### 導入前

- 以前使っていた海外のパッケージソフトはメーカーが日本から撤退し、サポートが受けられなくなりました。
- 動作が不安定になり、いつ動かなくなってしまうか非常に不安な日々が続いていた。
- 個別債権債務管理テンプレート以外のシステムで処理する場合は、経理スタッフを何名か拡充する必要があった。

### 導入後

- 操作にもすぐに慣れ、スムーズに導入することができた。
- 安定した稼働を保ち、安心して業務に専念することができるようになった。
- 年間2000を超えるイベント・コンサートの経理業務をスタッフ一人で、しかも別の業務とのかけもちをしなからでも、行うことが可能となった。

#### 勘定奉行新 ERP【個別原価管理編】



先導技術で未来を創る  
株式会社 **オービックビジネスコンサルタント**  
URL <http://www.obc.co.jp>

販売代理店

(東京) 〒163-6032 東京都新宿区西新宿6-9-1 住友不動産新宿オークタワー  
(札幌) 〒060-0003 札幌市中央区北三条西3-1 札幌北三条ビルディング8F  
(仙台) 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-2-3 鹿島広業ビル7F  
(関東) 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-9-6 大宮センタービル7F  
(千葉) 〒260-0015 千葉市中央区富士見2-7-5 富士見ハイネスビル9F  
(横浜) 〒220-0004 横浜市中区北幸1-11-15 横浜STビル7F  
(静岡) 〒420-0851 静岡市葵区黒金町11-7 三井生命静岡駅前ビル4F  
(金沢) 〒920-0024 金沢市西金1-1-3 コンフィデンス金沢8F  
(名古屋) 〒460-0008 名古屋市中区栄2-12-12 白川第二ビル別館2F  
(大阪) 〒530-0001 大阪府北区梅田2-6-20 スノークリスタルビル4F  
(神戸) 〒650-0036 神戸市中央区播磨町49 神戸国屋福地平和ビル7F  
(岡山) 〒700-0007 岡山市下石井2-1-3 岡山第一生命ビルディング6F  
(広島) 〒730-0032 広島市中区立町2-27 NBF広島立町ビル4F  
(福岡) 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-4-4 JPR博多ビル7F

TEL.03(3342)1880(代) FAX.03(3342)1874  
TEL.011(221)8850(代) FAX.011(221)7310  
TEL.022(215)7550(代) FAX.022(215)7558  
TEL.048(657)3426(代) FAX.048(645)2424  
TEL.043(202)7701(代) FAX.043(202)7702  
TEL.045(322)0922(代) FAX.045(322)3648  
TEL.054(254)5966(代) FAX.054(254)5933  
TEL.076(265)5411(代) FAX.076(265)7068  
TEL.052(204)3350(代) FAX.052(204)3354  
TEL.06(6347)7736(代) FAX.06(6347)7731  
TEL.078(393)3399(代) FAX.078(326)7655  
TEL.086(225)7891(代) FAX.086(225)7897  
TEL.082(544)2430(代) FAX.082(541)2431  
TEL.092(413)1271(代) FAX.092(413)1266

※カテゴリーに記載された内容および製品の仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。  
Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。